

保 護 者 様

茅野市教育委員会

医療機関において「インフルエンザ」と診断された場合は、法律の規定により出席停止となります。登園する際は、この治癒報告書を提出してください。

治癒報告書は、医師の指示を受け療養期間を確認し、保護者が記入してください。

「インフルエンザ」の出席停止の期間の基準は、学校保健安全法施行規則により、「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあっては3日）を経過するまで」と定められていて、保育園等もこれに準じています。

この用紙は保護者の方に記入していただくものであり、医療機関に記入してもらうものではありません。

## 治癒報告書

園長 様

組

園児氏名

下記疾患は、治癒していることを報告いたします。

|                 |   |
|-----------------|---|
| 疾患名             | インフルエンザ   |
| 発症日（熱が出た日）      | 年 月 日   |
| 受診した医療機関名       |   |
| 医療機関受診日         | 年 月 日   |
| 治癒の根拠（該当する番号に○） | 1. 発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後3日を経過した<br>(解熱日 月 日)<br>※注「発症した後5日」は発症日を0日とし、翌日を1日とする<br>「解熱した後3日」は解熱日を0日とし、翌日を1日とする |
|                 | 2. 医師の指示<br>(療養期間 年 月 日～ 年 月 日)   |

令和 年 月 日より登園させます。

保護者氏名

# インフルエンザの出席停止期間の考え方

【保育園児等の場合】

インフルエンザ発症後、登園可能になるには下記の2つの条件を両方、満たさないといけません。

①解熱後3日が経過していること

②発熱後5日が経過していること

発症した日は、発熱の症状が現れた日です。発熱が始まった日は0日目と考え、数には入れません。翌日からを発症第1日目と考えます。

❀下記に月日を入れてください❀

| 月 日                       | /   | /              | /              | /              | /              | /   | /   | /   | /   |  |
|---------------------------|-----|----------------|----------------|----------------|----------------|-----|---|-----|---|--|
| 例                         | 発症日 | 発症後5日間（登園停止期間） |                |                |                |     | 発症後5日を経過  |     |   |  |
|                           | 0日目 | 1日目            | 2日目            | 3日目            | 4日目            | 5日目 | 6日目   | 7日目 | 8日目   |  |
| 発症後<br>1日目に<br>解熱した<br>場合 | ☹️  | 解熱・1日目・2日目・3日目 |                |                |                | ☺️  | 登園<br>OK<br>  |     |   |  |
| 発症後<br>2日目に<br>解熱した<br>場合 | ☹️  | ☹️             | 解熱・1日目・2日目・3日目 |                |                |     | 登園<br>OK<br> |     |   |  |
| 発症後<br>3日目に<br>解熱した<br>場合 | ☹️  | ☹️             | ☹️             | 解熱・1日目・2日目・3日目 |                |     | 登園<br>OK<br> |     |   |  |
| 発症後<br>4日目に<br>解熱した<br>場合 | ☹️  | ☹️             | ☹️             | ☹️             | 解熱・1日目・2日目・3日目 |     |   |     | 登園<br>OK<br> |  |

乳幼児の場合、免疫機能の発達が十分ではなく、インフルエンザウイルスの増殖・排出が長期にわたって続くと考えられているため、小中学校より期間が長めに設定されています。

1人1人が停止期間（症状が続く期間）をしっかりと休むことによって流行、拡大を食い止める効果があります。一度に多くの方が感染すると免疫機能の弱い乳幼児や高齢の方、持病のある方が重症になる確率が上がります。さらに働き手のお父さん、お母さんが活動できなくなる、など社会機能にも影響します。